

1 調査名称：西宮市総合交通戦略策定調査

2 調査主体：西宮市

3 調査圏域：西宮市全域

4 調査期間：平成25年度～平成26年度

5 調査費： 21,600千円（当年度までの合計： 12,000千円）
（街路事業調査 都市・地域総合交通戦略策定調査）

6 調査概要：

本市は、大阪・神戸の両大都市の中間に位置し、鉄道網やバス路線網が発達した公共交通の利便性が高い都市として認知されているが、高齢化の進展により、身近な交通手段であるバス交通の充実に対する要望が高まりつつあり、鉄道の利便性についても、より一層の向上が求められている。また、地球温暖化防止、低炭素で環境に優しいまちづくりを目指す観点からも、マイカーから鉄道・バスへの利用転換を促進することが必要となっている。

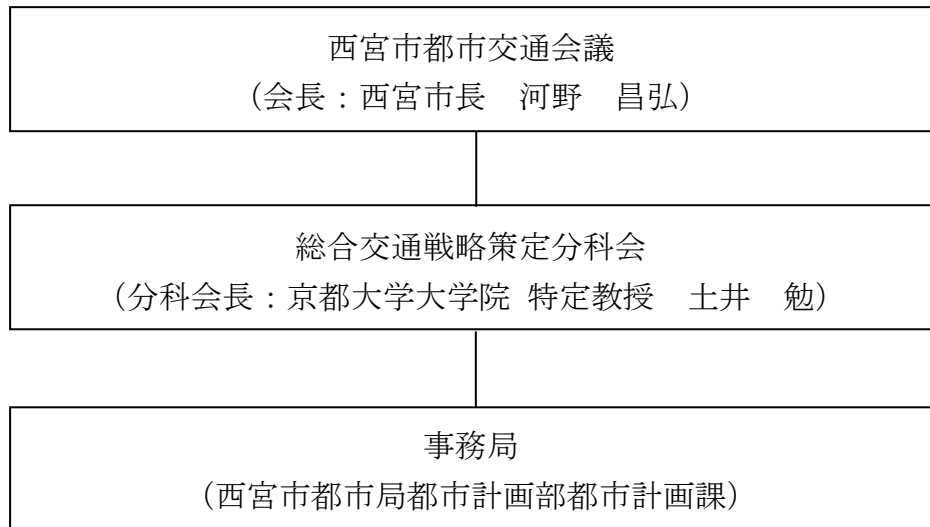
一方で、南北方向の道路網の脆弱性や鉄道駅の交通結節機能の不足は未だ克服されておらず、今後、都市機能の効率的な連携を図り、集約型の都市構造を構築するためには、公共交通の利便性向上とあわせて、幹線道路網の更なる充実等を図りつつ、交通結節機能の向上等を図る必要がある。

そこで、本市の特徴である交通利便性をさらに向上させ、持続的発展が可能なまちづくりを実現するため、行政、住民、事業者が連携・協働して、本市における交通政策のマスタープランとして「総合交通戦略」を策定し、交通施設整備などのハード対策と、バス等の交通手段に対するソフト対策を組み合わせた総合的な施策・事業を効率的に展開することとする。

I 調査概要

- 1 調査名：西宮市総合交通戦略策定調査
- 2 報告書目次
 - 1 調査概要
 - 1.1 計画策定の背景と目的
 - 1.2 調査の構成
 - 2 西宮市の概況
 - 2.1 本章のねらい
 - 2.2 地理的位置
 - 2.3 都市の成り立ち
 - 2.4 地勢に関する概況
 - 2.5 用途地域
 - 2.6 DID地区の変遷
 - 2.7 人口動向
 - 2.8 生活関連施設等の立地状況
 - 2.9 地価動向
 - 2.10 西宮市概況のまとめ
 - 3 西宮市の移動に関する問題点の抽出
 - 3.1 本章の狙い
 - 3.2 本市の移動の特徴
 - 3.3 本市の移動状況の整理
 - 3.4 本市の移動構造を踏まえた問題点の抽出
 - 4 将来のまちづくり検討にあたっての留意すべき視点の整理
 - 4.1 今後のまちづくり検討にあたり留意すべき将来動向等の整理
 - 4.2 上位関連計画の整理～西宮市が目指すまちづくりの視点
 - 4.3 将来のまちづくりの視点の整理
 - 5 西宮市の今後のまちづくりに関する課題の抽出
 - 5.1 現況の問題点から導き出される課題の抽出
 - 5.2 将来を見据えた課題
 - 5.3 今後のまちづくりを踏まえた課題～上位関連計画の支援
 - 5.4 今後のまちづくりに関する課題の整理
 - 6 西宮市の将来都市像
 - 6.1 まちづくりの基本方向
 - 6.2 将来都市像の設定
 - 6.3 将来都市構造の検討
 - 7 基本計画
 - 7.1 戦略目標
 - 7.2 施策体系

3 調査体制



4 委員会名簿等：

	所属	役職	氏名	都市交通会議	総合交通戦略策定分科会
会長	西宮市長	市長	河野 昌弘	○	
議長	京都大学大学院 工学研究科 安寧の都市ユニット	特定教授	土井 勉	○	○ (分科会長)
副議長	大阪大学大学院 工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻	准教授	松村 暢彦	○	○
監事	公募委員		酒井 慶子	○	○
監事	兵庫県 阪神南県民局 西宮土木事務所	所長補佐 (企画調整担当)	野崎 敏	○	○
委員	公募委員		立山 弘和	○	○
委員	西宮コミュニティ協会	副理事長	中村 和夫	○	
委員	モビリティコンサルタント ジャーナリスト		楠田 悦子	○	○
委員	西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 企画課(経営企画)	課長	奥田 英雄	○	
委員	阪急電鉄株式会社 都市交通事業本部 都市交通計画部	部長	庄 健介	○	

委員	阪神電気鉄道株式会社 都市交通事業本部 工務部	部長	村田 豊喜	○	
委員	阪急バス株式会社	取締役自動車事業部長	河崎 浩一	○	
委員	阪神バス株式会社 業務部	部長	野口 一行	○	
委員	みなと観光バス株式会社	代表取締役	松本 浩之	○	
委員	兵庫県交通運輸産業労働組合協議会 阪神地域協議会	議長	白井 康民	○	
委員	社団法人兵庫県バス協会	専務理事	中澤 秀明	○	
委員	社団法人兵庫県タクシー協会 (推薦委員: 阪神タクシー株式会社 取締役営業本部)	部長	鈴木 康弘	○	
委員	国土交通省 近畿地方整備局 兵庫 国道事務所 調査課	課長	橋本 亮	○	
委員	兵庫県 阪神南県民局 西宮土木事 務所 道路第2課	課長	高瀬 徹	○	
委員	西宮市 土木局 道路部	部長	永野 龍治	○	○
委員	兵庫県西宮警察署 交通第1課	課長	矢野 厚生	○	
委員	国土交通省 神戸運輸監理部 兵庫 陸運部	首席運輸企 画専門官 (輸送)	上畑 光生	○	
委員	国土交通省 近畿運輸局 企画観光 部 交通企画課	課長	加納 陽之助	○	○
委員	国土交通省 近畿地方整備局 建政 部 都市整備課	課長補佐	田中 克己	○	○
委員	兵庫県 県土整備部 県土企画局 交通政策課	課長	松本 元生	○	○
委員	兵庫県 県土整備部 土木局 道路 街路課	街路担当参 事	服部 洋平	○	○
委員	西宮市 都市局 都市計画部	部長	北田 正広	○	○

II 調査成果

1 調査目的

そもそも公共交通機関や道路等の交通基盤は、市民の移動という根幹的な活動を支えるものであり、各種分野の課題への対応を図るうえで、交通の担いうる役割を明確にして、効果的に施策展開を図っていくことが必要である。特に、高齢者等にとって身近な交通手段である公共交通は、市民の「生活の質」を支えるうえで、特にサービスの充実が求められるものと考えられる。

また、本市は、大阪・神戸の両大都市の中間に位置し、鉄道網やバス路線網が発達した公共交通の利便性が高い都市として認知されているが、高齢化の進展により、身近な交通手段であるバス交通の充実に対する要望が高まりつつあり、鉄道の利便性についても、より一層の向上が求められている。また、地球温暖化防止、低炭素で環境に優しいまちづくりを目指す観点からも、マイカーから鉄道・バスへの利用転換を促進することが必要となっている。

一方で、南北方向の道路網の脆弱性や鉄道駅の交通結節機能の不足は未だ克服されておらず、今後、都市機能の効率的な連携を図り、集約型の都市構造を構築するためには、公共交通の利便性向上とあわせて、幹線道路網の更なる充実等を図りつつ、交通結節機能の向上等を図る必要がある。

加えて、本市は、住宅地としてのブランド形成に成功し、人口が増加傾向にあるが、将来的には、人口減少や高齢化等が顕在化し、都市発展上の転換期を迎えていくものと考えられる。

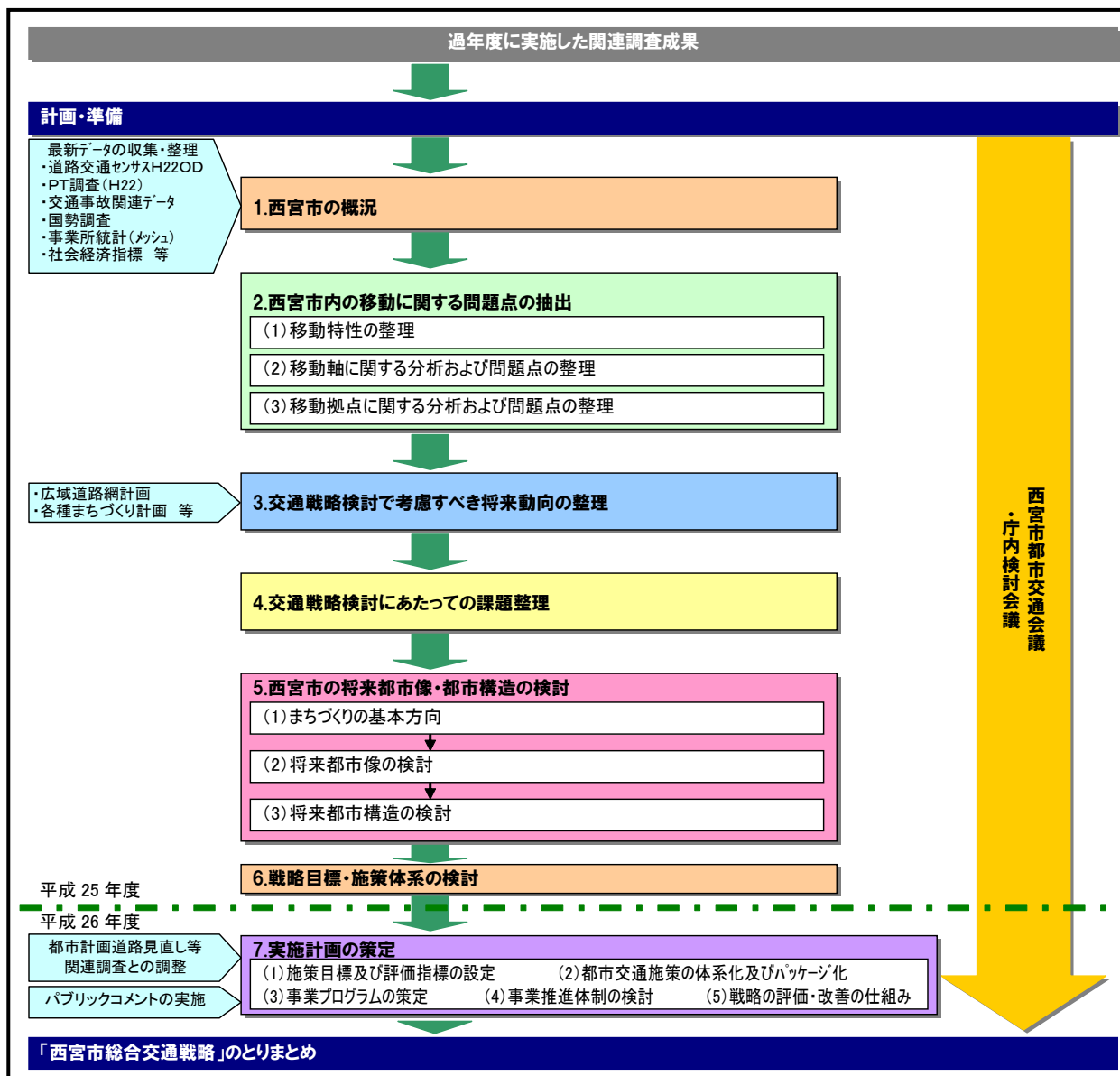
長期的視野に立って、市民の「生活の質」を支えるうえで、脆弱になっている地域コミュニティを再生する一方、都市型観光を含む商業・サービス業、そして工業等の地域経済の活性化を図っていくことが不可欠であるものと考えられる。

そのような中、都市経営の観点からは、「選択と集中」という考え方に基づき、公共サービスの面での効率性を高めるとともに、官民連携による効率的な都市経営の実現を図ることが不可欠であると考えられる。

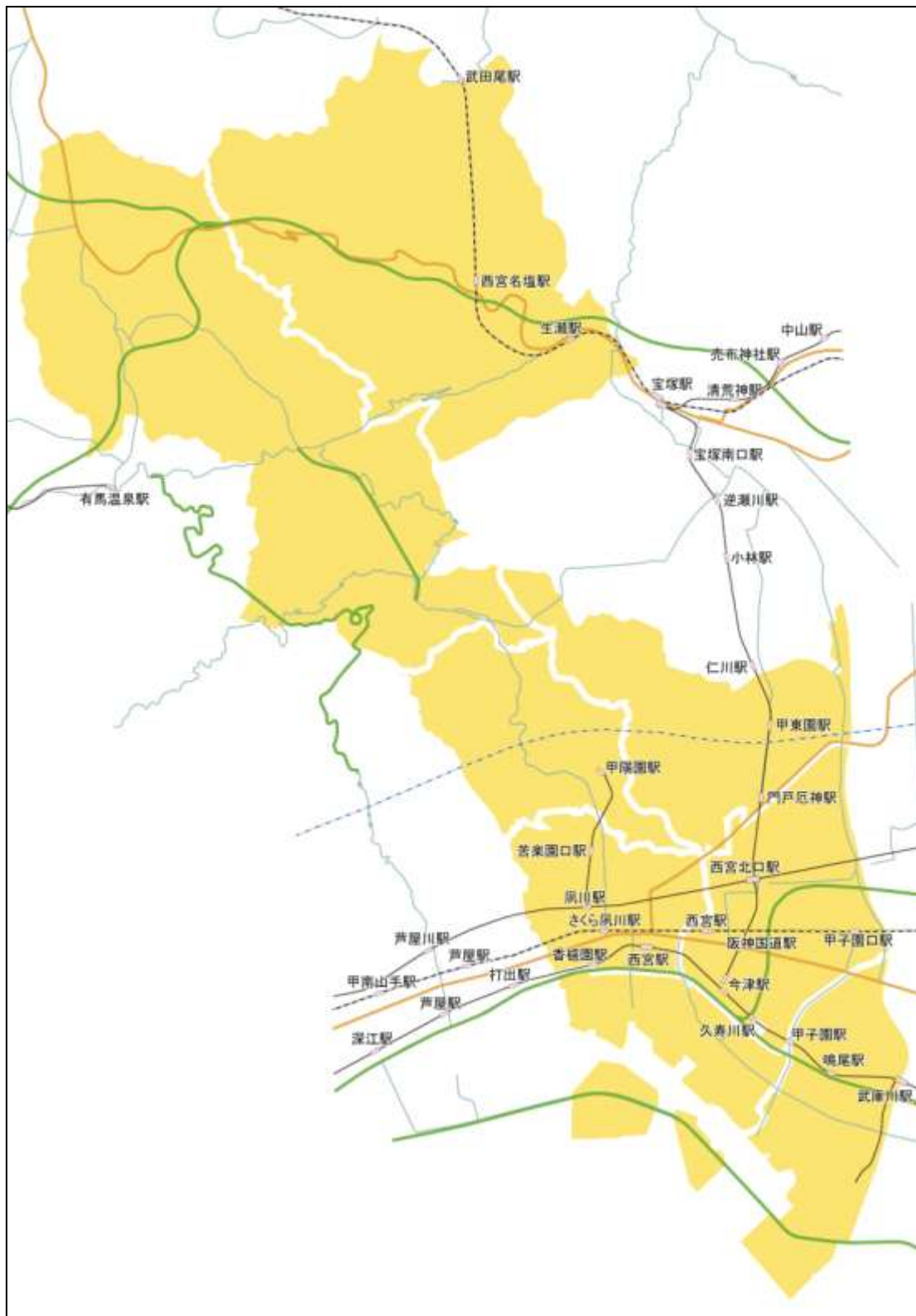
このような状況を踏まえ、交通施策と関連分野施策との横断的な連携を図り、展開していくことが必要である。

そこで、本市の特徴である交通利便性をさらに向上させ、持続的発展が可能なまちづくりを実現するため、行政、住民、事業者が連携・協働して、本市における交通政策のマスタープランとして「総合交通戦略」を策定し、交通施設整備などのハード対策と、バス等の交通手段に対するソフト対策を組み合わせた総合的な施策・事業を効率的に展開することとする。

2 調査フロー



3 調査圏域図



西宮市全域

4 調査成果

西宮市交通戦略基本計画の策定にあたり、目指すべき将来のまちづくりを支援することを主眼として検討した。それにあたり、上位・関連計画を整理するとともに、拠点の形成状況等を定量的に分析したうえで、都市構造を再整理した。別紙資料として、成果内容に関する抜粋版を示す。

抜粋版は策定過程の資料であり、平成26年度に策定する実施計画と合わせて、西宮市総合交通戦略とする。

I 本市の現況都市構造

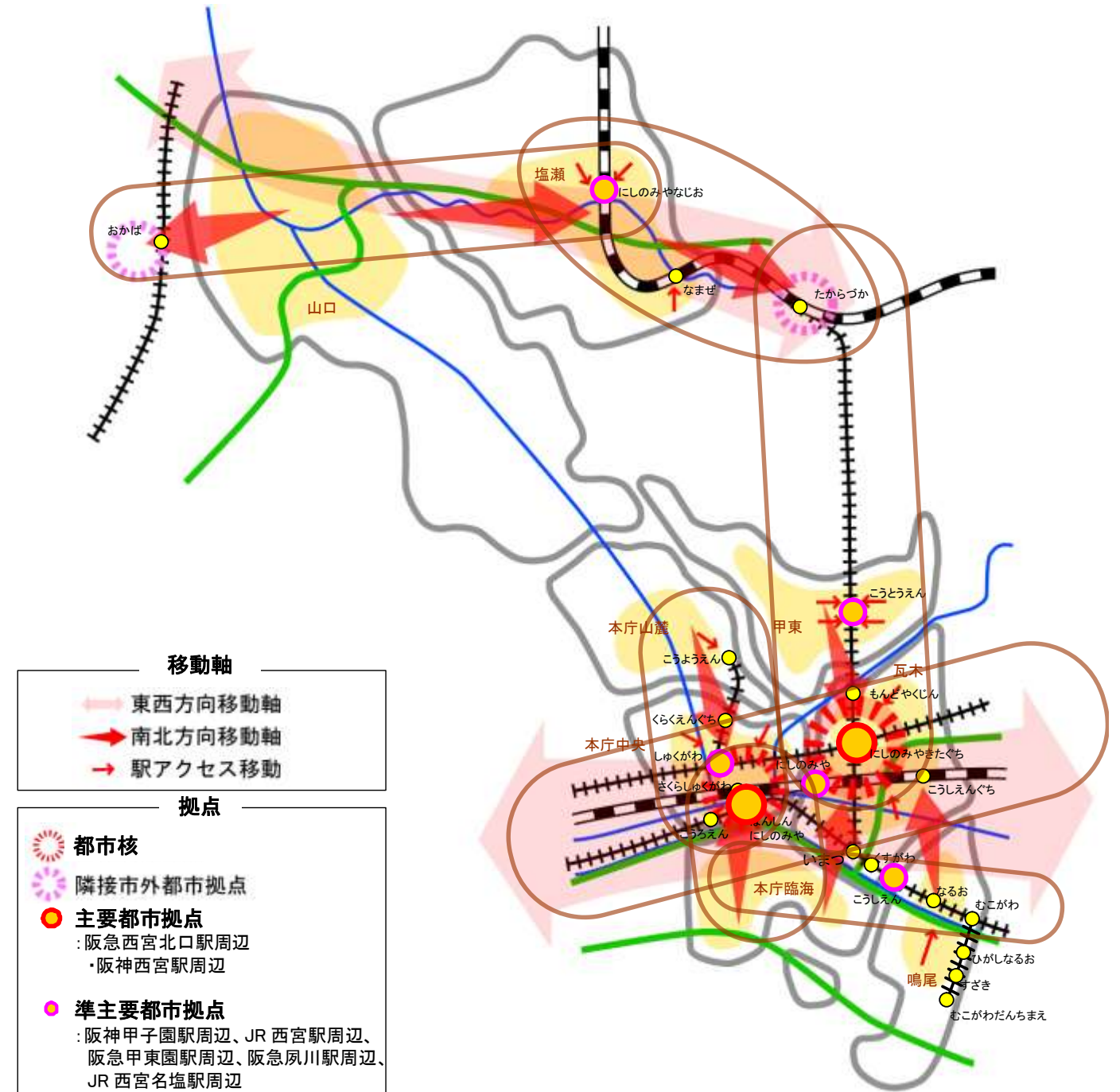
- 本市の現況都市構造については、移動軸と都市拠点、そして移動実態から把握できる各ゾーンの移動圏域を表記した右図のイメージとしてとらえることができる。
- 移動軸は、主に以下の都市交通施設で構成される。

地域	手段	東西方向	南北方向
北部	鉄道	JR 福知山線	—
	道路	中国自動車道 阪神高速道路7号 国道176号 県道51号 県道16号	有馬山口線 大沢西宮線
南部	鉄道	阪急神戸本線 JR 東海道本線 阪神電鉄本線	阪急甲陽線 阪急今津線 阪神武庫川線
	道路	名神高速道路 阪神高速3号 阪神高速5号 国道171号 国道2号 国道43号 県道573号 県道342号 県道606号	大沢西宮線 国道171号 県道337号 武庫川右岸線 県道193号 県道340号

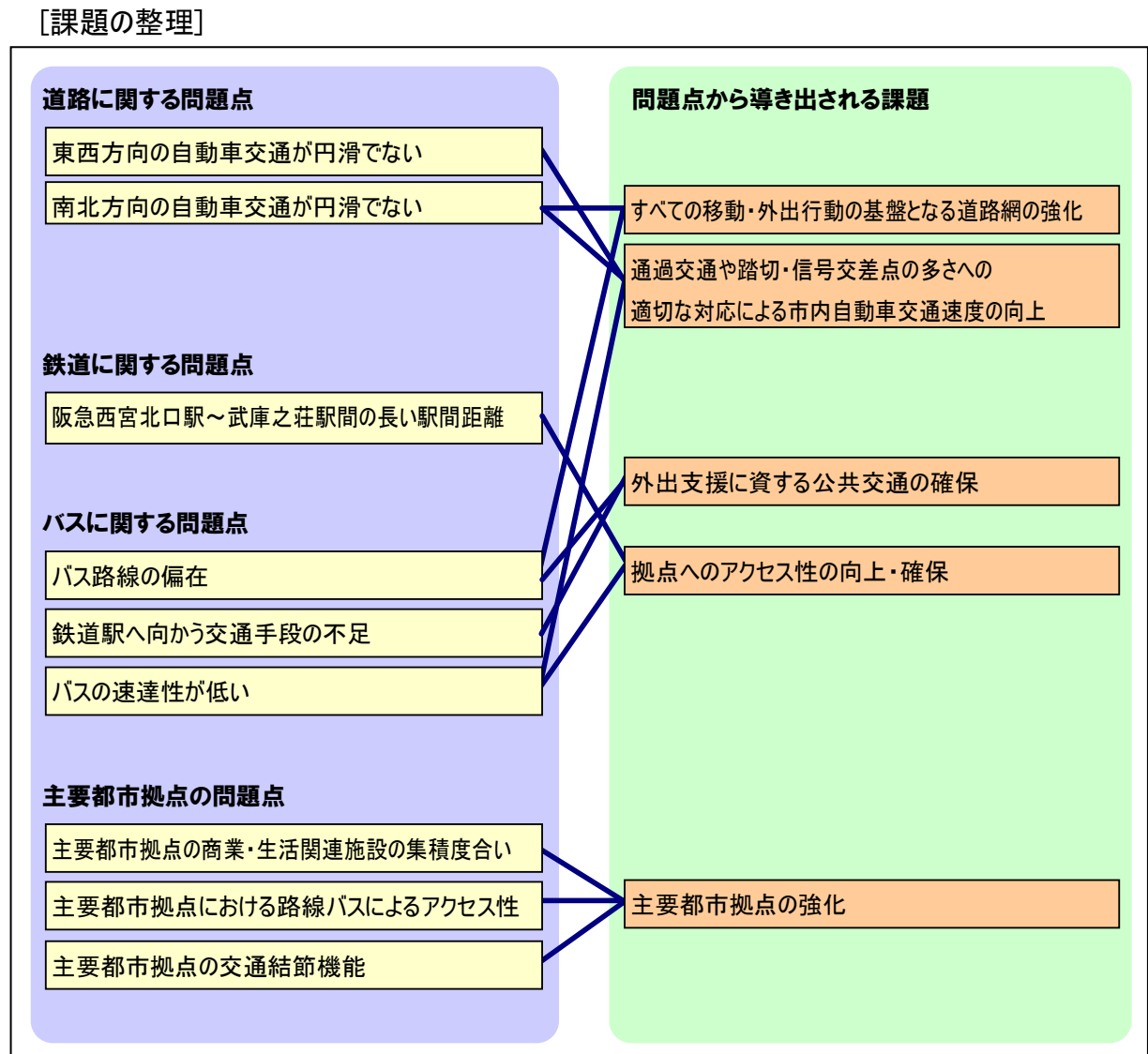
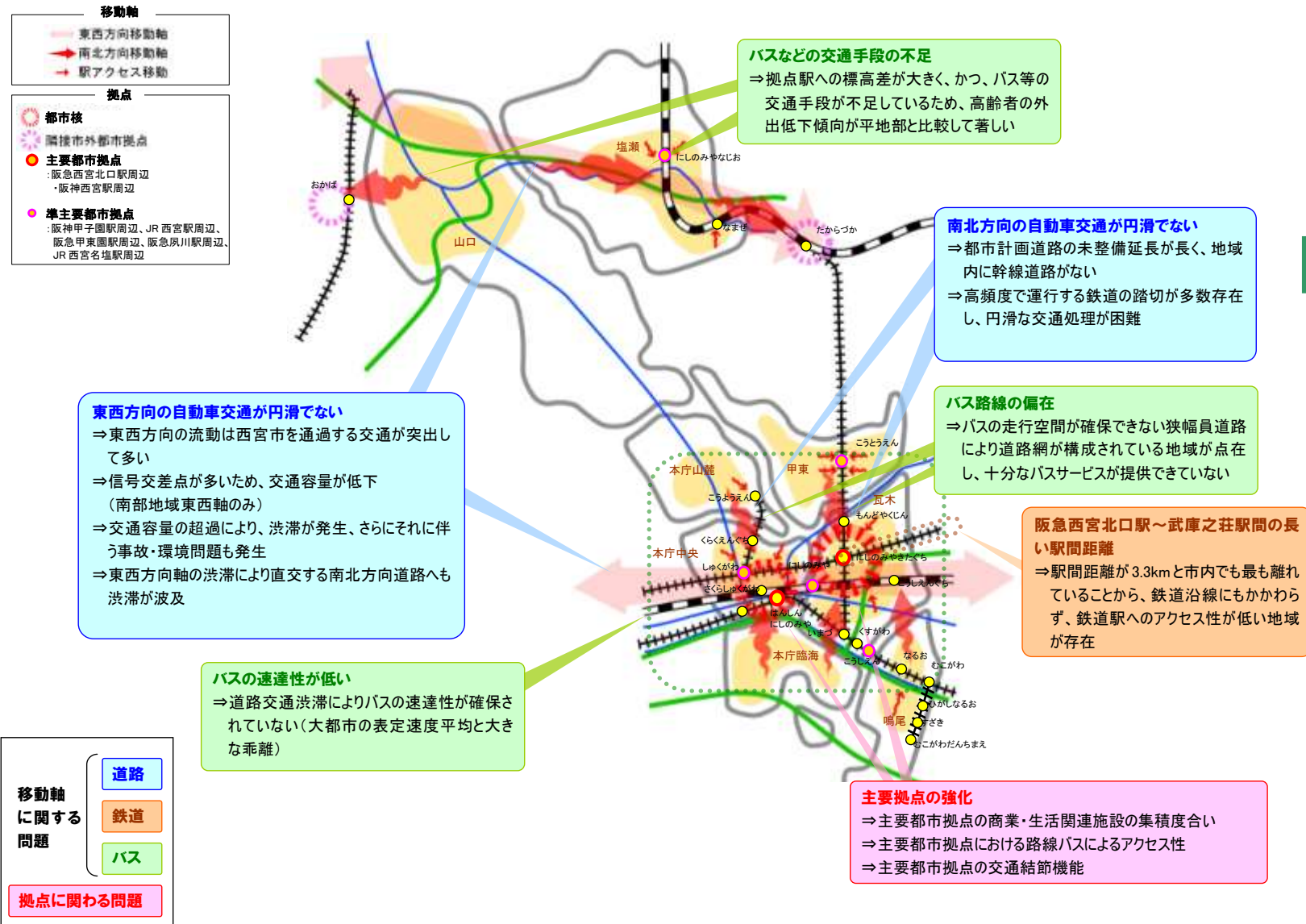
- 都市拠点は、以下の駅周辺が位置づけられる。

拠点	該当する駅
主要都市拠点	阪急西宮北口駅周辺 阪神西宮駅周辺
準主要都市拠点	阪神甲子園駅周辺 JR西宮駅周辺 阪急甲東園駅周辺 阪急夙川駅周辺 JR西宮名塩駅周辺

[西宮市の現況都市構造]



II 本市の移動及び主要都市拠点等の課題



III 西宮市のまちづくり・交通政策に関する課題、将来都市像、総合交通戦略の基本理念

まちづくり・交通政策に関する課題

現況課題(顕在化している課題)

- ・ すべての移動・外出行動の基盤となる道路網の強化
- ・ 通過交通や踏切・信号交差点の多さへの適切な対応による市内自動車交通速度の向上
- ・ 外出支援に資する公共交通の確保
- ・ 拠点へのアクセス性の向上・確保
- ・ 主要都市拠点の強化

今後のまちづくりを踏まえた課題
(上位関連計画の支援)

- ・ 文教住宅都市にふさわしい都市活力の向上・維持
- ・ 持続可能性の高い都市づくり
- ・ 集約型都市構造の実現
- ・ ユニバーサルデザインの都市づくり
- ・ 低炭素まちづくり
- ・ 魅力的な都市核等の中心市街地の形成
- ・ 市内移動を担う主要な交通軸となる幹線道路の整備

将来を見据えた課題

- ・ 今後加速する高齢化の進展に対応した移動手段の確保
- ・ 南部地域における新たな拠点へのアクセス性の確保
- ・ 災害時の避難活動・緊急輸送等への対応

総合都市交通戦略における課題

文化・教育・通勤等、種々の移動を支える道路網の再構築
誰もが手軽、快適に利用できる公共交通網の再構築
利便性の高い、魅力的な都市核の形成
人と環境にやさしい交通体系の形成
自然災害に対応する安心な交通体系の形成

まちづくりの基本方向

- 基本方向①：通勤、通学や文化施設等への来訪が便利な都市
- 基本方向②：生活に必要なサービスを受けやすく、多様なニーズに応じて訪れる拠点を選択できる都市
- 基本方向③：市内及び市内外の交流が活発で、だれもがにぎわいを享受できる都市
- 基本方向④：人と自然にやさしい都市
- 基本方向⑤：災害に強い都市

西宮市の将来都市像

みんなが暮らしやすく、お出かけしたくなるまち

品格の高い「文教住宅都市」において、子育てしやすい、働きやすい、いつまでもすみ続けたいような、暮らしやすいまち
都心の賑わいや、個性豊かな市内各地の魅力を、だれもがお出かけして楽しめるまち

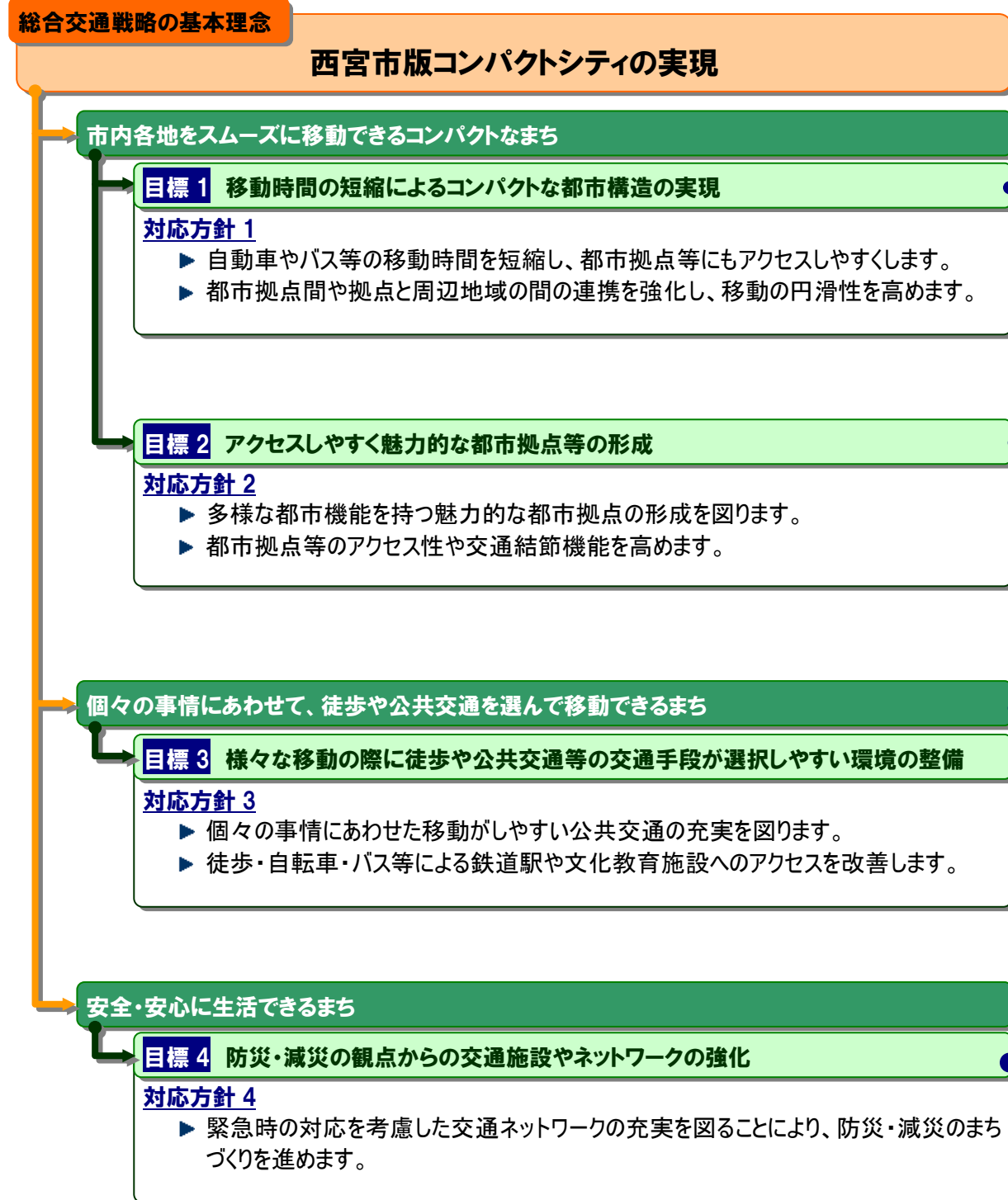
将来都市像を実現するための、
交通分野における戦略

総合交通戦略の基本理念

西宮市版コンパクトシティの実現

市内各地をスムーズに移動できるコンパクトなまち
個人個人の事情にあわせて、環境負荷の少ない徒歩や公共交通を選んで移動できるまち

IV 基本計画



<施策体系>

